

新型コロナウイルスワクチン接種について

接種費用無料
(全額公費)

本書は、新型コロナウイルスワクチン接種について、ワクチンに関する情報のほか、留寿都村における接種までの流れなどをまとめた書類です。

接種前に必ず内容をご確認いただくようお願いいたします。

接種日程及び予約の方法は、3ページ以降をご確認ください。

《目次》

- ・ 新型コロナウイルスワクチンの有効性と安全性 …… 1
- ・ ワクチン接種を受ける際に注意が必要な方など …… 2
- ・ **接種会場と接種日程** …… 3
- ・ **接種の予約** …… 5
- ・ ワクチン接種を受ける当日について …… 9
- ・ ワクチンを受けた後について …… 10
- ・ ご相談など …… 11



【接種当日にお持ちいただくもの】

- 接種券（剥がしたり、切ったりせずそのままお持ちください）
- 予診票（送付された2枚のうち、1枚に記入の上、お持ちください。）
- 緊急時連絡先申出書
- お薬手帳（お持ちの方）
- 健康保険証、運転免許証（本人確認等に使用）
- 住所地外接種届出済証（留寿都村に住所がない方のみ）

【お問合せ先】 留寿都村役場保健医療課 ☎0136-46-3131

（令和3年8月25日作成）

* 本書は、厚生労働省が作成した「新型コロナワクチン接種のお知らせ」を引用、改編し作成したものであり、発出日現在の情報を基に作成したものです。

接種する新型コロナウイルスワクチンの有効性と安全性

新型コロナウイルスワクチンは、発症を予防し、重症者や死亡者の発生をできる限り減らすことを目的としています。

◎ワクチンの効果

新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による感染症の予防

メッセンジャーRNAワクチンという種類のワクチンです。ワクチンを受けた人の方が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症(※)を発症した人が少ないということがわかっています。

(発症予防効果は約95%と報告されています。)

(※)新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、症状が重くなると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。



◎ワクチンの安全性

接種後、数日以内に現れる可能性がある症状

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10-50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1-10%	吐き気、嘔吐

コミナティ®添付文書より改編

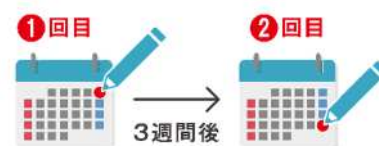
- ・接種直後よりも翌日に痛みを感じている方が多いです。
- ・これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
- ・疲労や関節痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。

- 接種後すぐにアナフィラキシーや血管迷走神経反射が起こる可能性があります。詳しくは9ページをご参照ください。
- ごくまれですが、ワクチン接種数日以内に、軽症の心筋炎・心膜炎を発症した例が報告されています(※)。ワクチンを受けた後、数日以内に、胸痛、動悸、息切れ、むくみ等の症状があれば、すぐに医療機関を受診し、ワクチンを受けたことを伝えてください。

(※)若い方、特に男性において2回目の接種後数日以内に発症する例が多い傾向が見られます。

◎ワクチンの接種回数

ワクチンは、3週間から6週間の間隔で2回接種します。



ワクチン接種を受ける際に注意が必要な方など

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ
「新型コロナワクチンQ&A『私は接種できますか?』」をご覧ください。



- 以下に当てはまる方は、ワクチンを受けることができない場合や、注意が必要な場合があります。接種に不安がある方は、かかりつけ医等にワクチンを受けて良いかどうかご相談ください。

受けることができない方	<ul style="list-style-type: none">○明らかな発熱がある方や、重い急性疾患にかかっている方○ワクチンの成分(※1)に対し、重度の過敏症を起こしたことがある方
注意が必要な方	<ul style="list-style-type: none">○現在、何らかの病気で治療中の方<ul style="list-style-type: none">・心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患、免疫不全で治療中の方・血が止まりにくい病気の方や、血をサラサラにする薬(※2)を飲んでいる方○以下の様な症状が出たことがある方<ul style="list-style-type: none">・薬や食品に対する重いアレルギー症状・けいれん(ひきつけ)

(※1) ポリエチレングリコールなどが成分として含まれます。ポリエチレングリコールは、大腸内視鏡検査時に下剤として使用する医薬品を始め、様々な医薬品に添加剤として含まれており、化粧品にも含まれていることがあります。その他の成分や、詳細については、厚生労働省ホームページをご参照ください。

(※2) このワクチンは、筋肉内に注射をします。そのため、抗凝固薬(ワーファリン[®]、ブラザキサ[®]、イグザレルト[®]、エリキュース[®]、リクシアナ[®])を内服中の方は、接種後の出血に注意が必要です。

- 妊娠中・授乳中・妊娠を計画している方もワクチンを接種することができます。メッセンジャーRNAワクチンが妊娠、胎児、母乳、生殖器に悪影響を及ぼすという報告は現時点ではありません。受けるかお悩みの方は、主治医にもご相談ください。
- 新型コロナウイルスに感染したことのある方も、ワクチンを接種することができます。現時点では通常通り、2回接種します。いつから接種できるか不明な場合は、主治医にご確認ください。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

